

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」高砂事業所			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用満足度が高い。	職員間で支援内容の共有を行い、利用者理解に努めている。 個別支援計画に沿った支援の提供を心がけている。	職員間で情報共有を行っているが、十分でない時もある。引き続き情報共有を行うとともに、支援員間で支援内容について助言する機会を設け、より良い支援の提供に務める。
2	個別支援計画作成における説明や聞き取りが丁寧にできているので、利用者一人ひとりにあった個別支援計画の作成ができています。 保護者様と情報共有の時間が多く、意思疎通ができています。	モニタリング時や家族支援時において、保護者様とお話できる機会を設けている。 またいつでも保護者様からお声掛けいただける雰囲気作りをしている。 必要に応じて職員からも家族支援の提案をさせていただいている。	引き続き、保護者様がどの職員でも安心して相談できるように関係づくりを行う。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援を提供するにあたり、利用者様が多くのいる時間では十分な環境設定ができていない時がある。	利用希望時間に偏りがあり、混雑する時間がある。 施設上部の壁は、個室を区切らずに繋がっているので、他室の音が気になる。	静かな環境をご希望の方には、他利用者様の利用が少ない時間での支援を提案させていただく。
2	こどもの特性に応じた専門性のある支援の提供で満足いただけていないことがある。	支援内容や対応について、ねらい、根拠のある説明が不十分と考えられる。	職員の発達障害に関する学習機会を設け、より理解を深められるようにする。 保護者の方への説明を丁寧にを行う。
3	家族支援プログラム等が浸透していない。	活動の回数が少なかった。	1年を通して計画的に家族支援プログラムを行う。 保護者の方へ十分な周知を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」高砂事業所

公表日 2026 年 1 月 8 日

利用児童数 51

回収数 37

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	6	1	2	・一人ずつの支援、少人数の支援どちらも出来るように工夫されていて〇 ・個別なので、部屋の大きさはそこまで広くなくて良いのかなと思うが全体的に少し狭いように感じる。 ・大きい部屋で2つに分けて活動する時は隣の子の声が聞こえてしまい集中できないときがある。 ・他児がいると少し狭いかもしれないが1人だと十分。	・今後も活動スペースを十分に確保し安全に支援ができる用に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	3		1	・たくさんの職員さんがいて下さるので、子どもに目が届いていると思います。 ・担当の先生がお休みの際や、先生と個別に話をする際、先生が子どもについて下さりありがたい。 ・必要に応じて一人から二人にする等対応していただいている。	・今後も適切な職員の配置数を継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	5		1	・部屋の前にマークをつけて子どもたちがどの部屋に入るか伝えるともっとスムーズに迷わず場所に行けそうですね。 ・入口入ってすぐに事務所なので、送迎の際や子どもを待つ時等に電話対応等の声が聞こえてくるので少し気になる。 ・安全かつ分かりやすくされている。 ・職員スペースに児童が入りやすくなっているのので、視覚的な工夫がいる児童にはわかりにくいかも。	・電話対応のスペースの確保を検討します。 ・視覚的な情報を活用して分かりやすい環境を整えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	2			・子どもたちの活動するスペースは、十分広いと思います。 ・いつも整った部屋で過ごしやすい。 ・掃除が行き届いており、とても綺麗。	・引き続き環境を整え過ごしやすい空間を作っていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	7			・子どもの特性に寄り添った支援を安心して受けています。 ・どの先生方も理解して下さっていて、支援も一人一人に合わせて行ってくれている。 ・日々工夫が感じられ、誰が対応しても同じようにしてくれる。	・支援の振り返りを職員間で共有し、十分な支援が提供できるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33			4	・個別で支援して頂け、職員さんという大人との接し方も学べている。 学習面、生活面、どちらも行って下さりありがたい。	・ねらいを持ったプログラムを提案します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37				・いつも、親、子それぞれの悩みや相談を聞いて下さっています。 ・求めたことに対して理解して下さり、一番良い方法での計画書を作成してくれている。	・引き続きFBを通して子どもの様子と保護者のニーズの情報をすり合わせていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	4			・デイの提供するサービスの支援を、私たちはたくさんして下さっていると思います。 ・本人だけでなく、私たち保護者に対しても真摯に向き合って下さっている。	・家族支援を行い、保護者様からのご意見を聞き取り、支援に繋げてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	3			・計画に沿った支援をして下さっています。 ・とても成長を感じています。	・今後も計画に沿った支援を行い、子どもの成長に繋げていきたいと思っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1			・色々な形で支援して下さっていて固定化されないように感じます。 ・色々なやり方で、その都度考え工夫して下さっている。	・必要な所は継続し、お子さんにあったアプローチを見つけていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	8	7	11	・学校の中で部活はしています。 ・学校、地域行事、ダンスの習い事。	・利用者様の社会生活を考慮し、支援の提供を検討します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36				・いつも明細を下します。とても分かりやすい記入されています。 ・最初に丁寧に説明があった。	・今後も丁寧な説明を心がけます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37				・手元に計画を持っておられ説明して下さいます。 ・とてもわかりやすく支援内容も素晴らしかったです。	・今後も支援内容の説明を丁寧にこなしていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	5		5	・前に参加したことがあります。 ・研修会に参加したことはないが、声を掛けて下さり、あるのは知っている。	・ファミカフェなどを計画し、ご案内させていただきます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	1		<ul style="list-style-type: none">・普段から沢山の話を聞いて下さり出来ていると思います。・私たちでは思いつかない視点で意見を下さるので子どもをより理解することが出来る。・受け渡しの際一言でも声を掛け合って、情報共有できている。	・今後も家族支援やFBを通して支援の様子を保護者と情報共有してまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	1	1	<ul style="list-style-type: none">・困った時、その時その場で助言して下さり、助かっています。・相談させていただき、進める方向がわかる。	・いつでもご相談ください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37			<ul style="list-style-type: none">・共感的に支援して頂いています。・一緒に考え、一緒に向き合って下さる。	・今後も保護者様、子どもと一緒に考え、支援に取り組んでいきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	6	4	8	<ul style="list-style-type: none">・あまり参加はしていないが、沢山イベントはされている。・参加したことはないが、あるのは知っている。	・ファミカフェ等の機会を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	3		2	<ul style="list-style-type: none">・いつも素早く丁寧に対応して下さり、親も子どもも頼っています。・とても話しをさせてもらいやすい状況(雰囲気)なのでよく相談にのっていただき、それがすぐに次の支援で行われていてありがたい。	・今後も相談しやすい環境作りに努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35			1	<ul style="list-style-type: none">・最近は今までより子どもの情報、親からの情報もどちらも意思を配慮して下さっている。・配慮はしっかりといただいている。	・FB時に児童の発言内容などを伝達し、共有することに努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	3		3	<ul style="list-style-type: none">・この前の消防の訓練の時にも発信して下さっています。・わかりやすく書かれている。	・今後も防災訓練の機会やSNSなどで発信を行っていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35			1	<ul style="list-style-type: none">・個人情報は十分に配慮して下さっています。・問題なしで安心している。	・個人情報の取り扱いには十分に配慮してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35			1	<ul style="list-style-type: none">・子どもと一緒に通所中にして下さっています。・説明もあり訓練も行われていた。	・引き続きマニュアルに沿って訓練を行い、安全に支援ができるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	1			<ul style="list-style-type: none">・この前もしていただきました。・訓練が行われていた。子どもにも説明があった。	・今後も定期的に訓練を行い、安心した支援を行っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1			<ul style="list-style-type: none">・子どもが安全に支援を受けれるように十分に考えて下さっている。・安心しておあずけしている。	・今後も安全の確保を十分に行ない、安心して過ごしていただけるよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2		5	<ul style="list-style-type: none">・今まで事故がないので分からない。・事故けが等ないのでその状況はないが、こちらであればそうして下さると思う。	・今後も速やかな連絡を行い、発生時の状況を具体的に説明してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	1			<ul style="list-style-type: none">・とても安心して通えています！・きりりさん大好きですよ～・先生方を信頼している。・駐車場についても嫌がることなく自ら進んで行ってくれる。	・多くの人が安心して通えられている事に嬉しく思います。引き続き、子どもたちがきりりに行きたいと思えるような環境作りをしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	2			<ul style="list-style-type: none">・はい！とても楽しみに通っています。・とても喜び、楽しんでいる。・「楽しかった？」と聞くと「楽しかった」と毎回伝えてくれる。	・引き続き楽しみながら学べる場を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	3			<ul style="list-style-type: none">・私たち親子がとても満足して通えています！・大満足です！	・保護者様や利用者様の意見を取り入れながら、より満足していただけるように努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」高砂事業所					公表日	2026 年 1 月 8 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室やパーテーションで個別支援ができるように工夫している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			入れ替わり、FB時にバタバタする事がある。入れ変り時間に足りていないと思う時もある。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		プログラムに集中しやすい環境設定を意識している。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			目につきやすい支援が多い。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室を活用してる。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員育成の一つとして取り組んでいる。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		回収後、校舎職員で共有し、ご意見については検討、改善を行っている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		校舎MTGや社内チャットで共有、改善している。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内・外の研修を活用している。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		記録にはある。 作成している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で情報共有したうえで見当を行っている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		行っている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		主にSDQを活用し定期的にあセスメントを行っている。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定できている。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		必要に応じて引きつぎや、聞き合って作成している。				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個別支援計画、プログラムの見直しを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		希望に応じて集団化都度うを提案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必要に応じて行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	ガルーン上で情報共有、必要に応じて口頭でも行っている。 必要に応じて行っている。	必ずはできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		全ての支援において記録作成し、職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			地域交流の機会の提供ができていない。 把握できていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児発管、担当職員が参加している。担当職員の参加が難しい場合は参加職員に事前に情報共有を行っている。	あいていたら参加しているが必ずではない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	センター開催の研修に参加している。	おそらくできていない。 連携しているか分からない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		外部イベントの開催をする。 機会を設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児発管が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		FBや家族支援で情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援を行っている。 ママカフェも1度行い、今後も予定あり。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、利用明細配布時、FB時等に行っている。	利用者負担の説明を丁寧にできていない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングで意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		FBや家族支援で行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		ファミカフェの開催、きょうだい児にはイベントの参加を提案している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情やご意見をいただいた際には、職員全員で共有し、対応を検討、実施している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		きりりつつしん、ブログ、Instagram、LINE@を活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			名前が記入されている物が見える所にある事もあるため意識する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要な場合はお手紙での伝達、家族支援の実施を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			利用者対象のイベントしかできていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時にアセスメントをとっている。	全員はできていない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供は行っていない。	保護者様から対応方法をきいている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			方策の検討をできていないことがある。口頭で共有し検討する時間を作る。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内・外の研修を活用している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要な場合は身体拘束同意書を取り、対応できるようにしている。	